

KSK(リアルライフNews)第3種郵便物承認 通巻3732号 2024年4月25日発行

とくていひえいりかつどうほうじん
特定非営利活動法人

じりつせいかつ
自立生活センター・リアライズ



KSK

リアルライフ News

Vol.30

KSK 1984年8月20日 第3種郵便物承認 毎月(5:10:15:20:25日)発行



しんねんど 新年度の

ほうじん じりつせいかつ
NPO法人 自立生活センター・リアライズ

りじちょう つじた ななこ
理事長: 辻田 奈々子

ねん まく あ さくねん みな いちねん
2024年の幕が開けました！ 昨年は皆さんにとってどんな一年でしたか？

ねんど じみち と く すいしん
リアライズでは、2015年度から地道に取り組んできたバリアフリー推進
のため、いずみおおつ 泉大津TRYにおいて、あら 新たにSeason3を始動することとなり、そ
の開幕に向けて準備を進めてきました。

きた ねん がつ しょうがいしゃさべつかいしょうほう みるかんじぎょうしゃ ごうり
来る2024年4月より障害者差別解消法において、民間事業者による合理
てきはいりょ ていきょう ぎむか ほうかいせい ないよう ひろ しみん みな
的配慮の提供が義務化されますが、その法改正の内容を広く市民の皆さんに
し もくてき
知ってもらうことを目的としています。

あわ いずみおおつし ねん がつ じっし かんきょうせい
併せて、泉大津市で2023年5月から実施されているバリアフリー環境整
び じょせいじぎょう く ちいき すいしんじぎょう どうじしゃだん
備のための助成事業である「暮らしやすい地域づくり推進事業」を当事者団
たい ふきゅう じょせいじぎょう かつよう せいび おこな よてい じ
体として普及し、助成事業を活用してバリアフリー整備などを行う予定の事
ぎょうしゃ たい しょうがいとうじしゃ しん とど むりようそうだん う つ
業者に対し、障害当事者の真のニーズを届けられるよう無料相談を受け付け
ていきます！

こんかい ほうかいせい いずみおおつし じょせいじぎょう いぎ ち
今回の法改正や泉大津市での助成事業がきちんと意義のあるものとして地
いき ねざ どうじしゃ と く じっこう かんが
域に根差すよう、当事者だからこそできる取り組みを実行していきたいと考
えています。

ねん いずみおおつし ぎかいぎいん かた つな ふか おお とく
2023年は泉大津市議会議員の方との繋がりを深められたことも大きな特
しよく
色でした。

ぎいん かた まね だい
議員の方をお招きし、プチタウンミーティングと題しパイオニアのスペー
しせい まな ぎゃく しょうがいしゃ
スにて市政について学ばせてもらったり、逆に障害者メンバーのこれまでの

あいさつ ご挨拶

生活歴や地域で暮らす上での困りごとなどのお話をさせてもらったりしました。

また、実際に障害者と共に街へ出てバリアフリーの必要性について体感してもらおう！ということで、2023年6月にオープンした市営公園にて車椅子体験を兼ねた街歩きを行いました。

議員の方からは障害者の実際の声を聞くことで、これまで知らなかった暮らしのリアルや福祉・街づくりの課題を考えるきっかけとなったとの感想をもらうことができました。

その他の取り組みとして、議員の方からの発信で市内の商店街の活性化とそのバリアフリー環境整備に向け、是非とも当事者の声を取り入れたい！ということで商店街の方たちによるネットワークに私たちリアライズも仲間入りさせてもらうことになりました！

このようにこれまで繋がりがなかった地域の皆さんと出会い、さまざまな取り組みを一緒に行うことで、障害者の存在を身近に感じてもらうと共に誰にとっても暮らしやすい地域の実現に向け、私たちも地域に貢献できたらと考えてます。

一方、2023年度より介助派遣などの体制が大きく変わりました。新しい役割や業務の引継ぎに奮闘する日々が今も続いています、それぞれへの感謝の気持ちや労いを忘れずにいたいと思います。

2024年も引き続き皆さんに応援してもらえる団体であるよう日々精進していきます！

今年度もリアライズをどうぞよろしく申し上げます！

スタッフより新年度ご挨拶



りじちよう だいひよう どうじしゃ
理事長／CIL代表／当事者スタッフ

つじた ななこ
辻田 奈々子（ななちゃん）

ねんど ぜんこく なかま あ じもと かた つな
2023年度は全国の仲間がたくさん会えたり、地元の方との繋
がり広がったり、前年度に掲げていた目標を達成できたと思
います！2024年度も周りを頼りながら自分の力を発揮して
いきたいと思っています！

かいちよう どうじしゃ
会長／当事者スタッフ

みつい たかお
三井 孝夫（みっちゃん）



みなさま、こんにちは！

はやいもので2024年度で設立して17年目に入ります。

そして、当時20代だった僕もあっという間にアラフィフです。

2023年度には全国自立生活センター協議会の常任委員（理事）
に就任させていただいたこともあり、新たなチャレンジに挑
みたいと思う今日この頃です。

じむちよう
事務長

よしひかり
吉井 ひかり（ひいちゃん）



じむちよう あたら やくしよく
事務長という、新しい役職になりました！ひいちゃんです
（ ・ x ・ ）

みぎ ひだり なか みな ちから が がん
右も左もわからない中ですが、皆さんの力を借りながら頑
張っていききたいと思います！

みな ねん おうえん ねが
皆さん、2024年もリアライズのことを応援よろしくお願いします～♡



せいがつかいごかんりしゃ
生活介護管理者

やまもと ひろし

山本 啓司(ひろし)

しんねんど あ
新年度明けましておめでとうございます！今年は自分の幅を広
げるため、あたらしげき きゆうしゆう
新しい刺激を吸収していくために公私ともにチャレ
ンジする気持ちを大切に前進していきたいと思います！年を経
たからなのか、どうしても、ふあん せんこう
不安が先行してしまうこともあり
ますが…(笑)

しせいかつ しゆみ ひがえ とざん はじ
私生活の趣味では、日帰り登山を始めたので今年は2泊3日テン
ト泊登山に挑戦したいなと思っています！

かいじよはけんかんりしゃ
介助派遣管理者

ほしの たかひろ

星野 貴大(ほっしゃん)



しんねんど か
「新年度のあいさつなんて書こう・・・」とこの時期になる
と、まいかいおな なや ちよくめん
毎回同じ悩みに直面しております。さて、今年度から新た
なやくわり にな
な役割を担うことになり、しんきいつてん おも
心機一転！と思いつつ、すでに目の
まえ ぶあつ かべ た
前に分厚い壁が立ちはだかっている心境ですが、あら せいちょう
新たに成長で
きるいいきかい おも いちねん がんば
きるいい機会と思いい年頑張っていこうと思います。

とうかつ
統括コーディネーター

かわぐち かずひろ

川口 和洋(はるお)



ねんど とうかつ だんせいじん
2023年度は、統括コーディネーターとして男性陣だけでなく、
じよせいじん かさ いじょう あじ ぶか いちねん
女性陣ともやりとりを重ね、これまで以上に味わい深い一年で
した。

りそう げんじつ はざま こころゆ うご きょう ごろ
理想と現実の狭間で心揺れ動く今日この頃ですが、さいご さいご
までたたかぬ
まで戦い抜きます！



コーディネーター

ふくい さえ
福井 彩英(まみー)

コーディネーターになって今年で10年目に突入しました。
あっという間の10年で驚いていますが、この10年をしっかりと振り返る1年にしていきたいと思います。
自分の時間を大切にして、人の時間も大切にできるように穏やかに生きていきたいと思います。
2024年もよろしくお願いします。

ふじもと
藤本

だいち

コーディネーター

大地(てんちゃん)



こんにちは！てんちゃんことてんのすけです🥰

昨年度は色々な経験をさせてもらい、周りの方々のおかげでより成長させて頂きました☆

今年度からコーディネーターという大きな役割を担わせてもらえることになり、喜びと不安が入り混じった心境ではありますが、また一回り成長出来るよう頑張ります！！

コーディネーター

あしむら

こなつ

芦村 小夏(こなっちゃん)



こんにちは、浪速イチかわいilビバー芦村です。

今年度からコーディネーターとして活動させて頂きます！

体調に気をつけつつ、お酒も趣味も楽しみたいと思います。

緩急、緩急♥

すえなが ねが
来永くよろしくお願いします。



そうだんしえんいんかんりしや そうだんしえんいん どうじしや
 相談支援管理者／相談支援員／当事者スタッフ
 にしとめ かずひろ
 西留 一浩（とめさん）

むすこ こうこう ねんせい むすめ しょうがっこうさいび がくねん しんきゅう
 息子は高校1年生になり、娘は小学校最後の学年に進級しま
 す。ますます親のサポートが不要になっていく一方で、私たち
 夫婦の両親は歳を重ねており、いわゆる「親の介護」という新
 しいフェーズがスタートしました。

そうだんしえんいん こうほう どうじしや
 相談支援員／広報／当事者スタッフ
 ちんぜい ゆうた
 鎮西 雄太（ちんちゃん）



リアライズとの関わりも今年で10年を迎えました。昔の写真
 を振り返ると自分も年を取ったなあと、主におでこから上の部
 分を見て感じます(笑)これから“も”れい年の取り方をしていけ
 るよう頑張っていきます！

こうほうじぎょうせきにんしや かいじよ
 広報事業責任者／介助スタッフ
 きたむら みつる
 北村 充（むー）



さいきん ただんたい かた ほっしん
 最近是他団体の方から「リアライズの発信すごいですね！」とい
 う声かけを頂くことがありうれしく感じています。情報発信は
 日々の積み重ねが大事だと実感することが出来た一年でした。
 今年度も小さなことから大きなことまで日々リアライズのことを
 発信していきますので、応援よろしくお願いたします！

ひじょうきんどうじしや
 非常勤当事者スタッフ／パイオニアメンバー
 おかだ のりゆき
 岡田 憲幸（おかちゃん）



いつも応援ありがとうございます！
 ねばり強く活動を続けていくためにはやっぱり、オモロさややり
 がいが必要だと思っています！
 最近泉大津市でも色々なイベントや取り組みが行われていたりし
 ますが、僕も負けずにオモロさを追求していきたいと思います！



かいじょ
介助スタッフ

かわばた のぶまさ

川端 延昌(のぶりん)

2023年度はリアライズ合宿であったり交流会を開いたり、コロナ禍では断念していたことが段々とできるようになってきました。2024年度も引き続き出来ること、やりたいことを増やしていける年になればと思います。皆様からもぜひご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

かいじょ
介助スタッフ

みなみ さおり

南 早織(さおりん)



いくきゅう へ ふっかつ
育休を経て復活しましたっ!!

ぜんねんど にんこそだ てんしよくなど じゅうじつ ひび
前年度は3人の子育てやパートナーの転職等、充実した日々を過ごしておりました♡

がつ おそく ねが
4月からまた家族ともどもよろしくお願い致します★

かいじょ
介助スタッフ

にいざと しょうへい

新里 翔平(しんぺー)



みなさま
皆様こんにちはこんばんは。

さっこん にほん ねんし いろいろ お こころ いた
昨今の日本では、年始から色々なことが起こり、心が痛むような思いでした。これから先はどんどん良くなっていくと信じて、日々頑張っていきたいですね。

ひつう おも
そんな悲痛な思いのときこそ、やはり『impossible is nothing(不可能なことは何もない!!)』ではないでしょうが!!

みなさま
皆様それぞれマイペースで今年も頑張りましょうー!

ことし ねが
今年もよろしくお願い致します!!



かいじょ
介助リーダー

まつもと しょうま
松本 翔馬(ししまる)

さくねん まえやく とし こと ことし ほんやく とし
昨年は前厄の年だったという事で、今年は本厄の年がきてしま
いまして汗
うんだめ ひ だいきよう みごと ひ あ
運試しに引いたおみくじも大凶を見事？引き当てましたwww
これ以上上がることはないと言え、今年も色々
チャレンジしていきたいと思っております。

かいじょ
介助リーダー

てらだ たつろう
寺田 竜郎(てらっしー)



こんねんど よ へんか とし おも
今年度は良い変化のある年にしたいと思います！
わたし
私としてもリアライズに貢献できるように。リアライズとして
しゃかい よ へんか こうけん ゆうい
も社会に良い変化に貢献できるように。プライベートでも有意
義な一年になるように！
あたま かいてん じかん むだ つか かた みなお じゅうじつ
頭の回転や時間の無駄な使い方を見直してもっと充実させてや
ります！

かいじょ
介助リーダー

おおもり ともや
大森 智也(ほとちゃん)



わたくしごと ことし さい じぶん なか しょうじきぐせい
私事ですが……今年30歳になります。自分の中では正直学生の
ころ せいしんてき へんか かん きつ ひび
頃から精神的な変化は感じていないのですが、気付けば日々が
す つい みそじ さ せま ねん
過ぎていき遂に三十路が差し迫ってまいりました。2024年は、
すこ としそうおう にんげん がんば い
少しは年相応な人間になれるよう……頑張れたら良いですね。

かいじょ
介助リーダー

やまぐち はるき
山口 遥希(はるく)



こんねんど なにごと たい まえむ と く おも
今年度は何事に対しても前向きに取り組もうと思います。
しっぱい ふ かけ つぎ い かんが
失敗したら振り返り、次に活かせたらと考えてます！
しごと せっきよくてき うご いしき ことし
仕事でもプライベートでも積極的に動くことを意識して今年の1
ねん むだ す がんば
年無駄なく過ごせるよう頑張ります！



かいじょ
介助リーダー

いけだ

池田 まどか(まどかさん)

さくねん じょうきん ねんめ さまざま まな こじんてき がこさいた
昨年は常勤1年目として様々なことを学び個人的には過去最多

でたくさん推しに会いに旅に出た1年でした。

今年も変わらず推しに愛を届けながら、特技の人見知りを卒業
出来るようにいろいろな人とお話しをしてたくさんの人と繋が
りたいなと思います。

かいじょ
介助リーダー

あない

はるな

穴井 晴菜(なっつー)



どーも～! なっつーでーす笑

少しずつリアライズに慣れて、休みの日は近くの大津川の辺り

を走ってストレスを発散させてます笑

去年の4月から常勤として働かせてもらってからあっという間

に1年経ってびっくりしてます! なので後悔がないように日々

無理せず程々にやっていきます笑

以上! なっつーでした～笑

かいじょ
介助リーダー

そた

ゆうき

曾田 優輝(そたぽよ)



かいじょ ねん た ことし しんじん
介助リーダーとして1年が経ち、今年は新人2ndシーズンという

ことで頑張ります…! 昨年度は不健康な生活を送っていたので、

今年こそは健康的な生活を送って健康を取り戻す事が今年の抱
負です。

お酒は程々にします…



かいじょ
介助リーダー

みなみ かずよし

南 和良（かずよしくん）

ドOヤースからの10年7億ドル契約を蹴って6月から常勤となりました。よろしくお願いします。

去年は家族も増えて濃い1年になりましたが今年は穏やかに過ごしたい！たぶん無理！

なんとか無事に生き抜きたいと思います！

かいじょ
介助リーダー

たなか ひろゆき

田中 洋行（たなぴー）



常勤になってまだ一年経っていませんが、常勤になる前の何年間よりも濃密な日々を過ごしたかもしれません笑

失敗も色々あり、皆さんの優しさに助けられることが多かったです。今年の抱負は自分自身がもっと成長し、恩返しにはならない微力かもしれませんが、力になれる様に精一杯頑張っていきたいと思います！

かいじょ
介助リーダー

はまの ゆうし

濱野 勇志（スミス）



あ
明けましておめでとうございます！

去年から常勤になり、もう年が明けたのかと思うほど、早いです。笑

少しずつでも自分自身成長出来れば良いなと思い、今年の抱負は勇ましい志という名前に合う人になる！と決めました。

今年もよろしくお願いします！！

パイオニアメンバーより

しんねんど あいさつ
新年度ご挨拶



パイオニアメンバー

ふじばやし ゆきお

藤林 行夫(バヤシさん)

としあ そうそう じしん こじんてき とうなんかいじしん ふあん おお
年明け早々に地震があり、個人的に東南海地震への不安が大
きくなってきた今日この頃です。「今年はもっと自分を大切
に！」をモットーに自分をセーブして決して無理はしないで
マイペースでやっていきたいと思っております。

パイオニアメンバー

もり ひろえ

森 寛絵(ひろえちゃん)



ねん わたし ほうふ けんこうてき たの あそ たの
2024年の私の包負は、「健康的に楽しみながら遊びつつ楽しむ」
ことです。

ことし りょうこう い
今年こそは旅行に行きたいです!!

かがわ た た い ぜったい い
香川にうどんを食べに行きたい!!!絶対に行く!

こもの つく たの はん た い
小物作りも楽しみたいし、いろいろなご飯も食べに行きたいです

ことし たの
今年も楽しみます(*'▽`*)

パイオニアメンバー

やの りか

矢野 理佳(りかちゃん)



ことし ねが
今年も、よろしくお願いします。

さくねん たいちようぶりよう おお やす おお
昨年は、体調不良が多く、パイオニアを休むことが多かったの
で今年は、体調管理と、パイオニアの活動を自分のペースでや
っていきたいと思っています!

がつ あたら ふ たの
1月からパイオニアに新しいメンバーが増えるので楽しみです。

にがて たの ことし
苦手なことも楽しめるように、今年はなりたいです。

こんねんど ねが
今年度もよろしくお願いします。

パイオニアメンバー



ながた ゆうじ
永田 勇次(ながちゃん)

ことし いろいろちようせんでき おも
今年は色々挑戦出来たらいいなと思っています。プライベート
でも活動でも挑戦していけたら自分がちょっとずつでも変われ
る気がするので成功を積み上げていきたいなと思います。
ことし ねが
今年もよろしくお願いします。

New Member!!

パイオニアメンバー

やすだ かおる
安田 馨(かおるくん)



がつ
1月よりパイオニアメンバーになりました！
ねん いろいろ こうりゆう
この1年でも色々な交流ができましたが、今後さらにもさら交流の
わ ひろ
輪を広げられれば良いなと思ってます。体の事もあるのであま
と
り飛ばしすぎないようにやっていこうと思います。

パイオニアメンバー

New Member!!



たかがき ももか
高垣 百々香(ももやん)

みんなとしゃべりたい！
たくさんの人と！
パイオニアのいいなあと考えた所は、にぎやかにしゃべって
いるところです！
ねが
これからよろしくお願いします！

ねんど
2023年度にてリアライズを
そつぎょう
卒業するメンバーよりご挨拶
あいさつ



もとじむちよう
元事務長

ひえだ かずのり
稗田 一敬(ひえちゃん)

せつりつ かか ねん つきひ なが どうていかた
設立から関わり15年の月日が流れ、ここでは到底語れない!!ほ
さまさま ものがたり ふ かえ おも ひと
ど様々な物語がありますが、振り返って思うことはただ一
こと
言!『ありがとう!!』という気持ちだけです。

どうしようもなかった僕が今あるのはCILとそこで関わってき
ひとたち
た人達のおかげです。

がつ はな つな
3月でリアライズを離れることになりましたが、これからも繋
わ たいせつ
がりの輪は大切にしたいです。

あ
いずれまた会いましょう!アディオス!!



もとかいじよ
元介助スタッフ

ひえだ
稗田 ひかり(ひかりん)



がつまつ はな ねんかん
3月末でリアライズを離れることになりました。この14年間、
ほんとう であ まな いま わたし きそ
本当にたくさんの出会いや学びがあり、今の私の基礎となっ
て
います。

じぶん たいせつ いばしよ おそ
いつも自分らしくいられる大切な居場所。これからもここで教
ひと たいせつ かんしゃ きも たいせつ
わったように人を大切に、感謝の気持ちを大切に。

なが あいだ
長い間、ありがとうございました。



いずみおおつ

泉大津TRY Season3

ひと

まち

『人とつながる街づくり』

しどう

始動！！



いずみおおつ

泉大津TRYとは？

わたし いずみおおつし すす ねん かつどう
私たちリアライズで泉大津市のバリアフリーを進めていくために、2015年より活動を
つづ いずみおおつ たび あら かつどう はじ
続けている泉大津TRYですが、この度おかげさまで、新たにSeason3の活動を始めてい
くことになりました！

い いずみおおつ いったいなん ひと おお おも
とは言っても、そもそも泉大津TRYって一体何やねん！？という人も多いかと思いま
す。

かつどう ふ かえ こん
・・・というわけで、まずはこれまでのSeason1とSeason2の活動を振り返りつつ、今
かい はじ かいまくしき しょうかい おも
回始まるSeason3の開幕式についてご紹介したいと思います！



いずみおおつ

泉大津TRY Season1

ねん がつ
【2015年4月～12月】

「人とつながる街づくり」をテーマに、「お手伝いします」と書かれたステッカーを、お店や公共施設の入り口の見えやすいところに貼らせてもらう活動を行いました。（愛知県で行われている「愛知TRY」公認の活動です。）

このステッカーを貼ることにより、障害がある人をはじめベビーカーを使っている人やご高齢の方、子どもなど何らかのお手伝いを必要としている人に、お店の人の「お手伝いする」という想いが伝わり、誰もが使いやすいお店や公共施設が増えていくというものです。

訪れたお店には、障害がある人に必要な工夫についてまとめられたパンフレットも配り、障害がある人についての啓発を行いました。8ヶ月間の活動の結果、約350軒中176軒にステッカーを貼らせてもらうことができました。



てっだ
お手伝いします
ステッカー



いずみおおつ

泉大津TRY Season2

ねん がつ
【2019年1月～】

「人とつながる街づくり」をテーマに、Season1のステッカー活動に続くバリアフリー活動として、泉大津市内のお店に募金箱を設置したり、毎月一回泉大津駅前街頭募金活動を行ったりすることにより、泉大津市でのバリアフリーのネットワークをつくっていくという活動です。募金箱を設置したお店に段差がある場合には、店頭設置した募金箱への募金や街頭募金活動で集まった募金でスロープを購入し、募金箱とあわせて設置します。

「分野の垣根を越えて、泉大津の色々な人と一緒にバリアフリーをつくっていく」ということを大切にしながら、他事業所や他団体、TRY活動の協力店舗の人、地元の中学校の生徒の皆さんと一緒に街頭募金を行ったり、登録ボランティアの人を募集したりしながら活動を行っています。

わたし かつどう と あ ねん がつ かんさい
 私たちの活動はメディアでも取り上げられ、2022年8月にNHKの「おはよう関西」と
 いう番組で活動の様子が取材・放映されました！活動にかける想いの語りのほか、お店
 に設置された募金箱の様子、お店の人がスロープをかけている様子、車イスを使ってい
 るメンバーがスロープで入店して食事を楽しむ様子などが放映され、より多くの人に広
 く泉大津TRYを知ってもらえるきっかけとなりました。

ねん がつ にち げんさい ぼきんばこせっちきょうりょくてんぼ けん てんとう
 2023年12月31日現在、募金箱設置協力店舗は19軒、スロープ設置店舗は15軒、店頭
 募金箱への募金総額は160,798円、街頭募金活動での募金総額は585,438円、その他の
 協力金等を含めた総協力額は877,580円となっています！！地域の皆さんのアツい想い
 に大変心打たれながら、活動を続けています！

ぶん おかだ
 文：岡田



いずみおおつ 泉大津TRY Season1,2に続く活動として、Season3が開幕しております。もちろんこれまでの活動の「人とつながる街づくり」をテーマに受け継いだ活動で、障害のある人にとって必要な配慮やバリアフリーについて、広く地域の皆さんに知ってもらい、誰もが暮らしやすい街づくりの推進を行っていきます。

あらた 新たにSeason3として活動始める背景には、本年4月より障害者差別解消法の改正により、一般のお店など民間事業者にも合理的配慮の提供が義務化されるということがあります。

またこの法改正に先駆け、泉大津市でも2023年5月よりお店などのバリアフリー化を促進する取り組みとして「泉大津市暮らしやすい地域づくり推進事業」が始まっていました。



しかし、この法改正や市の事業が始まっているのに、やはりまだまだ広く一般に認知されているわけではありませんでした。

このことをもっと広めて地域のバリアフリーを進めたい！障害のある人にとっての必要な配慮を知ってほしい！そして、リアライズでは地域のバリアフリー推進の活動として泉大津TRYがあるじゃないか！

そんな思いが重なり、泉大津TRY Season3として新たに活動を展開することを決めたのでした。



ぐたいてき かつどう ないよう

具体的な活動の内容としては、

- ①「泉大津市暮らしやすい地域づくり推進事業」を広める！
- ②障害のある人にとっての必要な配慮やバリアフリーの在り方を広げる！
- ③障害のある人にとっての必要な配慮やバリアフリー化を行うためにはどのようにすればいいのかの相談を受ける！



①、②を実行するために市内のお店を訪問し、市の助成事業のことや
法改正のこと、必要な配慮やバリアフリーについてチラシやリーフ
レットをお渡しし、丁寧に説明させていただきます。
そして、③ではバリアフリーに向けて動いてくださるお店の力に
なり、なんちゃってバリアフリーにならぬようサポートさせて
もらおうという取り組み内容です。



今回のSeason3では多様な障害のある方に向けた配慮やバリアフ
リーにしていかななくてはならないのですが、リアライズでは聴覚障
害者や視覚障害者と直接の関りがありなく、知識が浅かったり、
そもそも合理的配慮というものについても学び直さねば！という状
態でした。

そこで、それぞれの障害当事者の方をお招きして勉強会を開催
したり、内部での研修会で改めて合理的配慮を学び直したりと、
この機会を通じてスタッフやメンバーみんなが、知識を深めて、
それをお店の人に伝えていくということが経験できるのが大きい
なと感じました。

そして、ご協力をいただいた障害当事者や他センター
の皆様との繋がりの強さに関心の高さに、改めて感激し
ました。

文：鎮西



いずみおおつ

泉大津TRY Season3

かいまくしき

みち

つじたしてん

開幕式までの道のり

～辻田視点～

たくさんの方との繋がりやご支援のなか、
Season 3 始動に向けた準備を進めてきました
が、この新たな取り組みを盛大に盛り上げよう
ということで、去る1月15日(月)にテクスピア大
阪(泉大津市)でSeason3の開幕式を開催しまし
た！

この開幕式に向けて、泉大津TRY実行委員会
では会場調整や講師依頼、チラシ作成など約5ヶ
月前から準備してきました。

また実行委員会だけで温めておくのは勿体な
い！ということで、リアライズのメンバーが一
丸となって今回の開幕式を成功に導くべく、2ヶ
月前頃より全体に向けてSeason3の趣旨の共有
などを行ってきました。

中でも、開幕式には地域の方たくさん来て
頂きたい！ということで周知活動に力を入れる
こととし、メンバー総動員で地域のお店や福祉
事業所へ周知に回りました！

また先述のように、訪問する際に法改正や助
成事業の内容をきちんと理解し、自分の言葉で
先方の方に説明できるよう、合理的配慮に関す
る内部学習会も開催しました。

このように当事者や一部のスタッフだけでは
なく、日頃介助の現場で活躍してくれているス
タッフも巻き込んで準備を進めてこられたこと
で、開幕式にはアツアツの一体感をもって臨む
ことができました！





いよいよ、開幕式当日！みんなで一丸となって準備をしてきた開幕式！

会場には総勢140名もの方が参加して下さい、満員御礼となりました！

日頃からお世話になっている大阪府内の自立生活センターの仲間はもちろん、愛媛や愛知、兵庫など大阪府外の自立生活センターからもたくさんの仲間が駆け付けてくれました。



そして、みんなで取り組んだ周知活動が功を奏したのか、泉大津市内や近隣の飲食店などからマスターをはじめ従業員の方々、市民活動団体の方、福祉事業所の方など幅広い方々に来て頂き、地域の人たちの関心の強さを感じました。

また、泉大津市議会議員の方、NHKや毎日新聞といったマスコミの方も取材に来て下さり、この取り組みを広く発信できるきっかけをつくって頂きました！



前半の第1部では、これまでの泉大津TRYの活動報告を辻田・岡田よりさせて頂きました。続いてNHK Eテレ「バリバラ」でお馴染み玉木幸則さんより2024年度からの障害差別解消法の法改正について、泉大津市の障がい福祉課の方より「暮らしやすい地域づくり推進事業」についてお話し頂きました。普段、運動や障害のある人にまつわる法制度に馴染みのない方にも分かりやすくお話し頂き、会場からもたくさんの質問が挙がりました。



後半の第2部ではグループに分かれて、参加者の皆さんと会場周辺のお店を周って周知活動をし、泉大津駅前PR活動を展開しました。

極寒の中ではありますが、それを跳ね除けるように各々が市民の人たちに向けてアツいPRを繰り広げました！



【開幕式を終えて…】

たくさんの地域の方、自立生活運動の仲間と共に幸先の良いスタートを切ることができた泉大津TRY Season3！泉大津にこれほどまでの障害当事者が集結し、市民の方にも運動に参画して頂くのはアライズ史上初めてだったかと思います。

また障害者スタッフ、メンバーだけではなく、健常者スタッフも準備段階から携わり、合理的配慮に関する理解を深めながら周知活動に取り組めたことも大変良かったと感じます。

障害者がぶつかる課題は社会の課題、そしてみんなの課題ということで、誰しものが自分事としてSeason3の取り組みを自分の中に落とし込み、主体的に取り組めたことはアライズにとって大きな前進でした！

【今後の課題とビジョン】

開幕式以降、2024年2月1日時点で計4回、およそ80店舗への訪問を終えています。しかしながら、助成事業への申請に至った事業者さんやバリアフリー化などに関するご相談を頂いた事業者さんはほんのわずか…というお寂しい状況です。

理由はさまざまですが、私たちの力不足はもちろん、障害者との“出逢い”がまだまだ少ない、身近な存在となっていないのが大きな背景にあると思います。

この状況を鑑み、訪問して終わりということではなく、その後のアプローチやアライズメンバーによる実際のお店利用など、関係を絶やさないことが必要です。

「障害者が街に出れば差別が向こうからやって来る」という嘗ての先輩障害者のお言葉があります。

バリアフリーが浸透しつつある現代、大きな差別体験はなくなりつつあるものの、それでも起こり得る摩擦を乗り越えながら、障害者が当たり前にそこにいる街、自立障害者が溢れる街をいかにつくっていくか、今後の私たちの取り組みに掛かっていると考えます。

泉大津を誰にとっても暮らしやすい街にしていけるよう、地域に根差したTRY活動をこれからも継続していきます！応援、よろしくお願いします！

じりつしえん かん と く 自立支援に関する取り組み



リアライズでは様々な当事者と日々関わりがあり、その関わりの中で親元や施設を離れ、「自立した生活」を送りたいという思いを持った方の応援や支援を行っています。そして昨年度、リアライズと長年関わってきた2名の方が自立生活をスタートいたしました。

今回はその2名の方と、リアライズでは古株である森 寛絵さん（以下ひろえちゃん）の今年度自立生活10周年を迎えるにあたっての特集記事を組ませていただきました。

自立生活1年目の方達と自立生活を長年続けてきたひろえちゃん、この当事者3名に長年関わってきたリアライズのスタッフの想いとは？

それぞれの当事者に対する想いや、これまでに至る経緯など、様々な想いが詰まった記事となっていますのでぜひご一読ください！

おおばやし なおき じりつ 大林 直喜さんの自立について

ふん ふじもと
文：藤本 なおき

リアライズと長く関わっている当事者の一人である大林直喜さん。（以下、直喜くん）

生まれ育ったこの泉大津で永らく家族と暮らしてきましたが、昨年ついに自立し一人暮らしをスタートさせました！

そんな彼も最初から一人暮らしをしたい！と思っていたかという、実はそうではありませんでした。

では、どのような経緯で自立に至ったのか、そして現在までどういった取り組みをしてきたのかをお話させていただきます。

なおき いどうしえん りよう
 直喜くんはこれまで移動支援を利用し、
 リアライズと関わりを続けてきました。
 さいしょ うち とうじかいじょ はい かいじょしゃ
 最初の内は当時介助に入っていた介助者
 から「一人暮らししてみいひん？」と問わ
 れてもあまりピンとこない様子でした。
 そうして同じ質問を続けているとある
 とき ちが はんのう きょうみ しめ
 時、いつもと違う反応があり興味を示すよ
 うになってきました。
 りゆう なん ほ さ
 その理由が何なのか掘り下げていくと、
 すうねん まえ かぞく かんけい へんか
 数年ほど前から家族との関係が変化したこ
 とで本人の心境にも変化があったようでし
 た。
 ほんにん おやご
 それなら！ということでまず本人の親御
 さんを交えてお話をし、自立へ向けた取り
 組みが本格的にスタートしました！



かてい へ ねん がつ
 そういった過程を経て2021年の12月から
 リアライズの体験室を借りて体験宿泊を始
 め、その頃から自分も介助者として本人と
 関わり始めました。

さいしょ ばく か まいつきけい
 最初は1泊2日からスタートして、毎月継
 続的に自身体験をしてもらい、一日の過
 し方を一緒に考えたり、炊事や洗濯等の普
 段家ではしないことにチャレンジし、介助
 者として本人に一人暮らしのイメージを持
 ってもらうためのサポートをしました。

ほんにん けいけん く かえ
 本人もそういった経験を繰り返していく
 うちに一人暮らしの意欲が徐々に強まって
 いき、段階を踏みながら一回の宿泊期間も
 3泊4日、6泊7日と長くして実際の生活を想
 定して取り組みを進めていきました。

そんな最中、コーディネーターや相談員と家探しを進めていると、タイミング的に丁度いい物件が見つかり、2023年の5月から一人暮らしをスタートさせることが決まりました！

そこからは実際暮らしていく中で必要な家具・家電を本人とやり取りしながらリストアップし一緒に購入しに行ったり、電気・水道・ガスなどのライフライン、そしてインターネットなどの契約手続きをしたり等、一人暮らしを始められるように本人と一緒に考えて決めるサポートを行いました。そんな甲斐もあり、ようやく念願の一人暮らしを始めることが出来ました！



現在は、介助を使いながら日々様々なことにチャレンジしている直喜くんですが、まだまだ本人がイメージし辛い部分は介助者のサポートが必要不可欠です。

そのサポートをする人達の一員として、引き続き支えていけるよう精進していきたいと思います。





ももせ ゆう じりつ 百瀬 悠さんの自立について

ぶん かわぐち
文：川口

ももせ ゆう いか ゆう しんたい ちてき じゅうど しょうがい じゅうしょうしんしん
百瀬 悠さん（以下、悠くん）は、身体と知的に重度の障害のある重症心身
しょうがいしや やかん ふく にちじょうせいかつ ばめん かいじょ ひつよう
障害者であり、夜間を含む日常生活のあらゆる場面に介助が必要です。

はつご むずか かいじょしや
発語によるコミュニケーションは難しいものの、介助者から
と たい とき みぎて ちい あ
の問いかけに対して「はい」の時は右手を小さく挙げ、
「いいえ」の時は首を振って教えてくれます。

はつご おぎな
発語を補うコミュニケーションとして、コミュニケーション
もち じぶん おも しゅうい はっしん
ンボードやジェスチャーを用いて自分の想いを周囲に発信し
ます。



ひょうげん かなら ひと おも しめ
しかし、その表現が必ずしも一つの想いを示すとは
かぎ
限りません。

しゅうい じょうきょう そうごうてき かんが ほんだん
悠くんのことや周囲の状況を総合的に鑑みて判断
し、より多くのおお そうてい
の想定をしながらコミュニケーションを
ひつよう
とっていく必要があるため、コミュニケーションに時
かん よう
間を要します。

しゅうい ひと たい じぶん きも つた
また、周囲の人に対して自分の気持ちがうまく伝わらない、
つよ つた おも からだ ぞ おお
強く伝えたいという想いがあるときは、身体をのけ反らせて大
こえ はっ ぜんしん つか ひょうげん
きな声を発し、全身を使って表現します。

ゆう かか ひと にちじょうてき しせん ひょうじょう
悠くんに関わる人それぞれが日常的に視線、表情や
たいどなど き かれ おも きづ
態度等を気にかけることで彼の想いに気付くことがで
きます。

たん み まわ かいじょ
そのため、ただ単に身の回りの介助をすればいいの
ゆう ばめん できごと きょうゆう
ではなく、悠くんといろんな場面や出来事を共有し、
りかい ふか なが かか つづ ひと せんざい か
理解を深めながら長く関わり続けてくれる人たちの存在が欠かせません。



そんな悠くんが、一人暮らしに至るまでの経緯を簡単にでは
ありますが、ご紹介させていただきます！

リアライズが設立して間もない頃、悠くんと両親に出会
いました。悠くんや両親から「年齢の近い介助者に来て欲し
いこと」「継続して地域生活が送れるように取り組んで
いきたいこと」これらの希望を受け、介助派遣を開始
することになりました。

最初は、移動支援の利用から開始して介助者といろんな
場所へ外出し、多くの出来事を共有しながら経験を積み
重ねていきました。

翌年、悠くんの両親が腰痛を患い、両親の介護力に
頼った暮らしを継続していくことが困難になってい
く一方で、介助者が担える部分が増えてきたことか
ら、将来を見据えて取り組んでいくことになり、
重度訪問介護へサービスを切り替えることにな
りました。

当時のことを両親と振り返った際、悠くんが家族
以外の人とコミュニケーションがとれていること
に驚いたという話がありました。
そうした姿も両親の気持ちを後押ししたのでは
ないかと感じています。

最初は、入浴介助や通院介助等、これまで両親
が担ってきた部分を少しずつ介助者が担って
いきました。

当時の悠くんは、介助者と介助が思うように
いかなかったり、想いがうまく伝わらなかったりと、
すぐに両親を呼び出していました。



かいじょしゃ りょうしん たよ ゆう
介助者としては、両親を頼らずとも悠くん
とやりとりを成立できるように、試行錯誤する
日々の連続でした。

かいじょしゃ ひび す なか ゆう
介助者と日々過ごしていく中で、悠くんも
かいじょしゃ せいかつ じしん はじ
介助者との生活に自信をつけ始めていきまし
た。

なか かいじょはけん りょう
そんな中、リアライズの介助派遣を利用し
て生活している自立障害者との出会いに影響
を受けたこともあり、一人暮らしに対する意
欲的な姿勢が見え始めたため、悠くんや両親
とも話し合った結果、10年という長い年月を
かけながら少しずつ取り組んでいくことにな
りました。

ご じりつたいけんしつ はく
その後、リアライズの自立体験室で2泊3
日の宿泊体験を毎月繰り返し行いました。

しゅくはくたいけん かいすう かさ な はじ ころ ゆう
宿泊体験の回数を重ね慣れ始めた頃、悠く
んが一人暮らしを希望していたことや自立体
験室で取り組んできたことを慣れ親しんだ自
宅で実践してほしいという両親の願いから、
介助派遣を利用している時間帯は、なんと両
親が別に住まいを借りて別宅で過ごすといっ
た決断をしました。

せいかつ たいはん な した じたく
そのため、生活の大半を慣れ親しんだ自宅
で介助者と一緒に過ごす生活を開始すること
になりました。

りょうしん にな ぶぶん すこ かいじょしゃ
両親が担ってきた部分を少しずつ介助者へ
移行していけるように取り組んできた甲斐も
あり、時間をかけて取り組んできた結果、つ
いにその時が訪れました。



ひとりぐ む と く やく ねん な した じ
一人暮らしに向けて取り組んで約10年、慣れ親しんだ自
たく いずみおおつ ひ こ ひとりぐ かいし
宅から泉大津のマンションに引っ越し、一人暮らしを開始
することができました。

これまで、悠くんのことを巡って両親と想いの違いがあ
ったときはその都度話し合ってきた甲斐もあり、良い協力
かんけい きず あ でき ゆう しんらいかん
関係を築き上げることが出来ています。悠くんと信頼関
けい こと りょうしん しんらいかんけい ゆう せいかつ ささ
係もさる事ながら、両親との信頼関係も悠くんの生活を支
え うえ か
えていく上で欠かせません。

ひとりぐ とうじ じゅうぶん しきゅうりょう で
一人暮らしをするにあたって、当時は十分な支給量が出
ていなかったため、非定型申請を通じて行政や審査会の方
りかいただ けっか じかん しきゅうりょう みと
にご理解頂いた結果、514時間という支給量が認められま
した。

かんきょう へんか さいしよ とまど なや
環境の変化から、最初は戸惑ったり悩んだりすることも
ありましたが、すぐに彼も慣れ始め、生活も落ち着いて
ひびかいてき す
日々快適に過ごすことができました。

へいじつ たの せいかつかいご かよ きゅうじつ じたく す どうが
平日は楽しく生活介護に通い、休日は自宅で好きな動画
み
を観ながらリラックスしたり、友人を自宅へ招いて一緒に
す
過ごしたりしながら、これまで築き上げてきた地域の人た
ちのつながりの中で生きています。

ゆう えがお
悠くんがこれからも笑顔
た す な ち
絶やさず、住み慣れたこの地
いき ひと
域でいろんな人とのつながり
なか い
の中で生きていくことができ
るよう力を尽くしていきます。





もり ひろえ じりつせいかつ しゅうねん 森 寛絵さん、自立生活10周年を むか 迎えるにあたってインタビュー！

ねん じりつせいかつ しゅうねん むか もり ひろえ ねんちか じかん かいじょたい
2024年で自立生活10周年を迎える森 寛絵さん！10年近く24時間の介助体
せい せいのもと、自立生活が続けてこられました。

さいきん たいりょく ていか たいちょう へんか つ あ かつどう さんか
ここ最近では、体力の低下や体調の変化と付き合いながら、活動の参加のあり
かた なや 方にも悩んでこられたそうです。

もり じりつとうしょ そうだんいん かか つじた
そんな森さんに、自立当初から相談員として関わってきた辻田がインタビュ
ーさせてもらいました！

■2024年で自立生活10周年になりますが、今どんなことを思いますか？

もり
(森)

あっという間ではあったけど、何事も継続していくのは大変だなと思います。思えばいろんな人に自分のやりたいことを伝えていく温度感が年々分からなくなってきたかな。若い頃は、あれもこれもやりたい！と思っていて、やりたいことを言うだけで良かったけど、今はそれをするための準備とかいろんな事を考えてしまって、躊躇してしまう自分がいますね。

辻田
(辻田)

躊躇してしまうことはあると思いますが、どうすれば「やろう！」と思えるようになりますか？

もり
(森)

それはまだ分からないですねー。やりたい事を見つけるのが今は大変で、心と身体が今は付いていないことが多いので、自分でも「どうしたん？」と思っていますね。

■この10年で変わらずにやってきたことは何ですか？

もり
(森)

朝ご飯をきちんと食べていることですかね。ご飯ではなくパン派なんです！コーヒーも絶対飲んでいます！そうすることで新しい一日を迎えよう！という気持ちになります。あとはお風呂に入るときは必ず入浴剤を入れるということは続けていますね。

リアライズのSNSにて当事者のこだわりシリーズの中でも取り上げてもらいました。最近のスヌーピーとバブがコラボした入浴剤を買って入れています。

お花系ではなく、柑橘系の香りが好きです。

■逆にこんなことが変わったなーということはありますか？

もり
(森)

記憶力が落ちたなーと。あとは、世代的に先輩だからというので自分の意見を求められるようになったなと思います。

元々は自分の意見をもっている方だと思っていたけれど、こんなにも制度とかが複雑になってきたから、自分の意見ってこれで良いのかなと思った。りすることが増えたかなー。変化に付いていくのが大変で、自分の意見をもっておくのも大変だなと思います。

■この10年、いろいろあったとは思いますが、一番しんどかったことは何ですか？

もり
(森)

介助者に自分の想いを伝えていくことですかね。

「どうしたいですか？」と聞かれるので答えるけれども、その意味を理解してもらうのに時間がかかることですかね。何かこれといったエピソードというよりは、日々のやり取りといった感じですかね。自立生活は続けていきたいけど、自己責任というのをどこまで自分はとっていきけるのかなと思うときがありますね。

辻田
(辻田)

逆にどうやったら安心して（責任を）背負っていただけますか？

もり
(森)

それはまだ模索中ですね。これ！っていうのがあれば良いですね。



パイオニアメンバーで箕面大滝へ観光



■この10年で一番良かったことは何ですか？

もり
(森)
旅行とか行けるようになったのがまずは良かった
なと思います。いろんな事を選んで決めていく
うで、自分の想いを伝えてできるようになってい
けたことが良かったなと思います。旅行以外にも
会いたい人に会いに行けるようになったことや、
みんなで気軽に集まれるようになったことが良
かったことと思います。

■今後、例えば10年を見据えてこういうところは
大事にしていきたいというのはありますか？

もり
(森)
おもてなしなどはめっちゃ苦手だけど、人と関わる
ことは好きなので、続けていきたいと思っています。
自立支援などはこんな自分でもできるのかなと思う
けど、やってはいきたいなと思いますね。人も大事
にしていきたいけど、自分自身と向き合いながら自
分のことも大事にしていきたいですね。

■この先、10年で新たにチャレンジしたいことは
何ですか？

もり
(森)
香川にうどんを食べに行くことですかね。あと
は、推し活ですね！スヌーピーに囲まれて一年く
らいゆっくり過ごしてみたいですね！スヌーピー
ミュージアムやスヌーピーのイベントにいっぱい
行ってみたいですね！日本全国を遠征したいで
す。お金を貯めないといけないですが（笑）

■日頃の生活を支えてくれている介助者に今、伝
えたいことは何ですか？

もり
(森)
私自身が楽しいと思えることを一緒に共有してい
けたら良いなと思います。一緒にいろんな経験を
積んでいきたいですね。

これからいろんなことがあると思うけど、末永
くよろしくお願いします！



Profile

もり ひろえ
森 寛絵

■1983年2月12日大阪市生まれ

■大阪府立岸和田支援学校 卒業

■趣味：スヌーピー・映画鑑賞・
音楽鑑賞（特にKREVA）

■2014年11月から自立生活を開
始。現在は泉大津で一人暮らしを
している。

色々なところに出かけるのが好
きで、今後の目標は香川にうどん
を食べに行くこと。

【寛絵さん 自立10年を振り返って】



「コーディネーターより」

文 吉井・福井

リアライズで自立生活を始めて10年がたった寛絵さん。
 介助者として自立に携わり、コーディネーターとしていろんな場面を共にしてきた10年。
 1番近い所で関わってきた吉井、福井からこれまでの振り返って
 それぞれの「今想う事」を綴りたいと思います。

《吉井》

10年前、寛絵ちゃんも介助者に自分のやりたいことを伝えて生活を作っていく
 のは初めてな中、経験もそんなにない介助者と自立生活をスタートしてって、
 今では資格講座で自分の経験を語っている姿を見ると一緒に
 やっていてとても頼もしいです！

シチュー事件も、一緒にオールしたことも、役所の方々とやり
 とりしたことも、引越しの日の朝のバタバタも、推し活も…。

思い出は沢山ありますが、介助者と生活のことや、やりとりも
 含めて一緒に考えていくことについて、私にとっては

いろんな経験をさせてもらいました♪

介助者として自立の取り組みに初めから関わらせてもらえた
 ことが、とてもありがたいです！



ふくい
《福井》

いまおも
今思うと、あつという間だったなと感^{かん}じます。
ひろえ^{かいじょ}さんの介^{はい}助^{とうじ}に入り^{だい}だした^{がくせい}当^だ時^{がくせい}はわたしはまだ10代で学生
だった^{なに}ので何^{かんが}も考^めえず、た^めだ目^{まえ}の^{おも}前の^{おも}ことをこ^{おも}なして^{おも}いただけ^{おも}の
よう^{おも}に思^{おも}います。

とうじ
その当^{かいじょ}時^{はい}ひろえ^{ひと}さんの介^{ほんとう}助^{かたて}に入^{おさ}って^{おさ}いた人^{おさ}は本^{おさ}当^{おさ}に片^{おさ}手^{おさ}に収^{おさ}まる
ほ^{おさ}ど^{おさ}の人数^{おさ}で回^{おさ}って^{おさ}いて、来^{おさ}る日^{おさ}も来^{おさ}る日^{おさ}もひろえDAY。
「ただいまー」とひろえ^{じっか}さん^いの実^{おも}家^{おも}に行^{おも}って^{おも}いたの^{おも}を思^{おも}い
出^だし^おま^おす^おね。(笑)

なに
何^{ところ}もな^{いっしょ}い^{かんが}所^{かんが}から一^{じりつ}緒^{じりつ}に考^{じりつ}えて^{じりつ}い^{じりつ}って自^{じりつ}立^{じりつ}がス^{じりつ}タ^{じりつ}ート^{じりつ}して、
そのう^{わたし}ち^{わたし}私^{わたし}はコ^{わたし}ー^{わたし}ディ^{わたし}ネ^{わたし}ー^{わたし}タ^{わたし}ー^{わたし}に^{わたし}なり^{わたし}お^{わたし}互^{わたし}い^{わたし}奮^{わたし}闘^{わたし}し^{わたし}な^{わたし}が^{わたし}ら、
今^{いま}はど^{いま}ち^{いま}ら^{いま}か^{いま}と^{いま}い^{いま}うと^{いま}続^{いま}け^{いま}る^{いま}大^{いま}変^{いま}さ^{いま}と、^{いま}その^{いま}す^{いま}ご^{いま}さ^{いま}を^{いま}実^{いま}感^{いま}
し^{いま}て^{いま}い^{いま}ま^{いま}す。

とぎ
途^{じりつせい}切^{かつ}れる^{かつ}こ^{かつ}と^{かつ}なく^{かつ}自^{ほんとう}立^{すこ}生^{すこ}活^{すこ}が^{すこ}続^{すこ}い^{すこ}て^{すこ}い^{すこ}く^{すこ}こ^{すこ}は本^{ほんとう}当^{すこ}に^{すこ}凄^{すこ}い
こ^{どうじ}と^{どうじ}で^{どうじ}そ^{どうじ}こ^{どうじ}に^{どうじ}は^{どうじ}当^{どうじ}事^{どうじ}者^{どうじ}の^{どうじ}日^{どうじ}々^{どうじ}の^{どうじ}苦^{どうじ}悩^{どうじ}が^{どうじ}く^{どうじ}っ^{どうじ}つ^{どうじ}い^{どうじ}て^{どうじ}い^{どうじ}ま^{どうじ}す。

ま^おち^おか^お間^お近^おで^おそ^おの^お10^お年^おを^お一^お緒^おに^お過^おご^おせ^おた^おこ^おは私^おに^おと^おっ^おて^おは^おと^おて^おも^お大^おき^おな^おな^おも^おで^おし^おた^お。こ^おれ^おか^おら^おも^お時^おに^お爆^お発^お
し^おな^おが^おら^お、ア^おッ^おプ^おデ^おー^おト^おし^おな^おが^おら^お過^おご^おし^おて^おい^おき^おま^おし^おょう！



よいい ふくい ひろえ
《吉井&福井から寛絵さんへ》

ねん なか たっせい
10^{ねん}年^{なか}の^{たっせい}中^{くる}で^{くる}達^{くる}成^{くる}で^{くる}き^{くる}て^{くる}き^{くる}た^{くる}こ^{くる}と、^{くる}苦^{くる}し^{くる}か^{くる}っ^{くる}た^{くる}こ^{くる}と、^{くる}い^{くる}ろ^{くる}ん^{くる}な^{くる}こ^{くる}と^{くる}が^{くる}あ^{くる}っ^{くる}た^{くる}と^{くる}思^{おも}う^{おも}け
ど、10^{ねん}年^{ねん}続^{ねん}い^{ねん}て^{ねん}き^{ねん}た^{ねん}こ^{ねん}と^{ねん}が^{ねん}す^{ねん}ば^{ねん}ら^{ねん}しい^{ねん}こ^{ねん}と^{ねん}で^{ねん}す。

いま はし つづ ふん すこ いきぎ
今^{いま}は走^{はし}り^{はし}続^{つづ}け^{つづ}て^{つづ}き^{つづ}て^{つづ}き^{つづ}た^{つづ}分^{ふん}、^{ふん}少^{すこ}し^{すこ}息^{いき}切^きれ^きも^きあ^きる^きと^き思^{おも}い^{おも}ま^{おも}す^{おも}が、^{おも}立^たち^た止^どま^どっ^どて^どま^どた^どた^ど歩^{ある}い^{ある}て^{ある}い^{ある}
く^たた^ため^たの^たエ^きネ^きル^きギ^きー^きを^き蓄^{ひつ}え^{ひつ}る^{ひつ}期^{ひつ}間^{ひつ}も^{ひつ}必^{ひつ}要^{ひつ}で^{ひつ}す。

じき わら はな ひ く
こ^{じき}の^{わら}し^{はな}ん^ひど^くい^く時^く期^くも^く笑^さっ^さて^さ話^あせ^ある^あ日^あが^あ来^{ねん}れ^{ねん}ば^{ねん}い^{ねん}い^{ねん}な^{ねん}ー^{ねん}と、^{ねん}こ^{ねん}の^{ねん}先^{ねん}の^{ねん}新^{ねん}た^{ねん}な^{ねん}10^{ねん}年^{ねん}へ
向^むけ^むて^むま^むた、^むみ^むん^むな^むで^むい^むろ^むん^むな^む時^む間^むを^む一^む緒^むに^む過^むご^むし^むて^むい^むき^むま^むし^むょう。

【寛絵さん自立10年を振り返って】

ひろえちゃん改めて自立生活10周年おめでとうございます。
まずひろえちゃんはパイオニアにとって、なくてはならない存在ですね。

最初のころは、活動の得意、苦手が激しく、ときには逃げたくなることもありましたが、『きっとこれはみんなでしたいこと』、『パイオニアが大切にしていること』と言い聞かせながら、苦手なこともチャレンジしてきたひろえちゃんの姿は今でも思い出すときがあります。

それがきっかけで、「一緒に一つのことを成し遂げる」とこの難しさをみんなで感じ、「一緒に一つのことを成し遂げる」ための工夫を考え始めたきっかけであり、それは今のパイオニアを作る土台となっているなど感じています。

僕は活動の中で障害者メンバーの気持ち、目線に立って考えようと思いますが、やはり考え切れないことが多いです。

その時、ひろえちゃんによく相談させてもらいます。

ひろえちゃんからは、「自分の目線ではこう感じる!」ということをストレートに言ってくれ、そのアドバイスは、ガツンとくるものがあります。なかなかシャイで人との関係性を作ったり、自分から積極的にしゃべっていく方ではない人ですが、めちゃめちゃ周りやパイオニアの場のことを見ており、その人の気持ちに立って物事を考えている人で、すごく頼らせてもらっています。

これから新しいメンバーが入ってくる中で、どんな活動がいいか、どういう風にみんなで一緒に活動していくかを工夫をしながら、前に進んでいくと思いますが、ぜひひろえちゃんの意見やアイデアを活かして、これからもみんなの居場所であり、活躍できる場「パイオニア」を作っていきましょう!

生活介護パイオニアより

文 山本



けんしゅう べんきょうかい と く 研修や勉強会への取り組み

リアライズではスタッフのレベルが日々向上できるよう、また次世代を担うスタッフを育成するために、1年間を通して様々な研修や勉強会に取り組んでいます。

そのほんの一部ではありますが、現在リアライズが行っている研修や勉強会のご紹介をさせていただきます！



リアライズでは毎月1回、全スタッフと生活介護のメンバーが集まって「リアライズ共有会」を開催しています。そこでは、日々の活動の共有やリアライズをより良くしていくためのアイデアや取り組みたい活動などについてグループワークを通してみんなで出し合ってきました。



そこから打って変わって、2022年度はひろしさんプレゼンツで「リアライズの理念を知ること」や「自分が担っていききたい役割」などをテーマにし、年間を通して同じメンバーに分かれてグループワークを重ねてきました。

2023年度はこれを踏襲し、3つの年間目標をもって取り組んできました！その目標とはズバリ…

- ①リアライズのことを自分の言葉で伝えられるようになる
 - ②自分には何ができるか考え、行動できる人になる
 - ③次の人たちを育てていける人になる
- です！

リアライズ共有会

きょうゆうかい

ぶん
辻田

これらを達成できるように「自分にとってリアライズはどんな場所であるか？」を原点に「リアライズにとって自分はどのような存在でありたいか」を出し合い、これから出会う新たな当事者・介助者にリアライズのことをどう伝えていくかを考えてきました。

また、リアライズについて自分の言葉で語れるようになるために、長年中心で活動を引き張ってきた中堅メンバーのことをまずは知ろう！ということで、これまでの苦労やそれらをどう乗り越えてきたのか、なぜここで長く活動を続けているのかを中堅メンバーにアツク語ってもらおうコーナーもつくりました。

日々活動する中で外に対して求めるだけではなく、リアライズの理念を形にするために自分自身はここで何ができるのか、そのためにどう変わっていく必要があるのかに向き合い、その想いを受け継いでいける存在にそれぞれがなっていければ良いなと考えています！



現任研修

げんにんけんしゅう

リアライズでは年4回の現任研修を実施しています。現任研修とは、現在働いている介助者達に、新しい情報や必要な知識、役立つ技術等を知ってもらい、よりよい介助者ライフを送ってもらうための研修となっております。

当事者にも介助者にも楽で、快適な生活を送れる一端になればと思い実施しています。

第1回目は5月。「差別ってなあに」をテーマに、日常の中にある「これは、差別か？」という事例を挙げて「これは差別？差別じゃない？」を考えてもらい、それが差別だった場合はどうすれば解消されるかをグループで考えてもらいました。



↑研修を受けグループワークを行う様子

ぶん
かわばた
川端

その際、合理的配慮についても触れ、場面ごとで使われている配慮にはどんなものがあるかも、グループで挙げてもらいました。

例えば映画館、子どものために台が用意してあることからUDCastというアプリがあることまで数多くの配慮を挙げてくれていました。

この研修を機に、日常の差別に気付く考え方があることや、それらはどうすれば解決できるのか考えられる介助者になってもらえたらと考え実施しました。

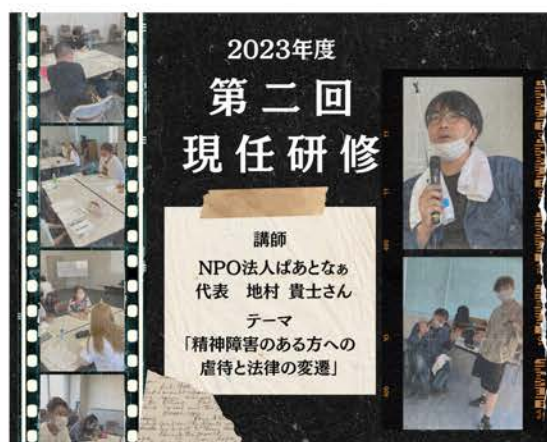


2回目はとても暑かった8月。講師に「NPO法人ばあとなあ」の代表・地村 貴士さんをお迎えして「虐待」についての講義をしてもらいました。

2022年度にも地村さんに講師をしてもらったことがありとても好評だったことから、今年度も引き続き依頼させていただきました。

前年度はデータや資料を基に法律の変遷や課題について講義いただきましたが、今年度は特に精神疾患のある方に対する虐待の現状や法律の変遷についてお話をいただきました。

重めのテーマではありましたが、重くなりすぎないよう冗談も織り交ぜながらの講義はとてもおもしろく、またとても考えさせられる講義内容でした。



研修後は地村さんを交えてささやかながらも交流会を開かせていただき、少しの時間ではありましたが、一緒に楽しい時間を過ごさせていただきました。

改めて地村さんお越しいただき誠にありがとうございました。
また来年度からもよろしく申し上げます！(笑)



3回目はまだ暑さの残る10月。「人権と介助」をテーマに、三井&川口が話す対談形式での講義でした。

「介助者は当事者が育てる」ことが大事だと言われています。

確かに大事なことですが、そこには介助者自身にも考えてもらう必要があるのではないか？というところに焦点を当てての対談を行い、それを聞いて考えたこと・感じたことをグループになって話し合ってもらいました。

新しい介助者にとっては目指すものとして、長く続けている介助者にとっては自身の介助のあり方を見つめ直す良い機会になりました。



最後の4回目は2月に行います（この記事は1月に執筆しています）

2023年度最後の現任研修はスタッフのみんなで企画を考えて進めてきました。

「介助スタッフはどのように人間関係を構築してきたか」と称して、自身の経験を踏まえて相互理解のためのコミュニケーションの重要性を説きたいと思っています。

この報告についてはぜひリアルタイムのSNSをフォローして頂いて、2/18頃の記事を読んでください！そしてぜひぜひフォロー、グッドボタンをよろしくお願いします。

新人スタッフ研修

しんじん

けんしゅう

ぶん
川口

2023年度の新人スタッフ研修は、前任の吉井から引継ぎ、川口が担当させていただきました。

新人スタッフ研修は、人材育成・定着を目的として2022年度より開始しました。介助者一人ひとりの成長へとつながるよう、2022年度の新人スタッフ研修は更にブラッシュアップした形で臨みました！

ということで、新人スタッフ研修をご存じでない方もいらっしゃるのではないかと、改めてご説明させていただきます♪

～新人スタッフ研修とは？～

1年目の常勤介助者を対象に実施。リアライズにおける各部門の役割や運動について研修プログラムを作成し、他センター等外部の団体にも協力してもらいながら、CILの特色や運動について学ぶ研修プログラムです。

新人スタッフ研修では、一年間の研修プログラムを通じて、「こんな介助者になってほしい！」という目的意識を持って取り組んでできました。詳細は下記をご参照下さい^^

～新人スタッフ研修の目的とは？～

- ①リアライズの解像度を高め、リアライズのことを語れる人になる
- ②障害福祉制度や自立生活運動、自立の理念を知る
- ③リアライズの内外問わず、横のつながりを作る
- ④介助の質を高める
- ⑤自分たちにできることは何かを考える



新人スタッフ研修
～自立生活運動部門編～

2022年度に引き続き、リアライズ内部の理解を深めてもらうため、リアライズの成り立ちから各部門が取り組んでいる事業内容、過去から現在に至るまで取り組んでいる運動課題等を各部門の担当者に協力を得て紹介しました。

知識習得の研修だけではなく、グループワークやロールプレイ等の手法も用いながら、インプットするだけでなく、アウトプットする機会を設けながら考えて答えを出してもらえるように工夫しました。



外部の研修としては、現場でしか学べないことをたくさん吸収してもらうために、生活介護パイオニアが中心となって取り組んでいるフィールドワークやオールラウンド交渉、ピープルファースト大会といった活動の場面にも参加し、現場でしか感じることをできない臨場感や熱量を体感してもらいました。



また、日頃お世話になっている他センターや団体にも協力を得ながら、自立生活センターや自立生活運動に関する理解を深めつつ、交流を通じてつながりを築くことができる場を持ちました。

そして、お楽しみ企画と題し、上記に定めた目的を達成できるよう、どんな研修の内容を行うか、新人スタッフの面々と考え合って実践しました。



新人スタッフ研修を担当し、正直なところ、当初描いていたことの半分くらいのことしか出来なかったというのが本音ではありますが、僕自身も多くのことを学び、良い機会となりました。新人スタッフの一人ひとりが、今後のリアライズを支える次代の担い手となることを期待しています！

リアルライフニュースをお読み頂きました皆さま、新人スタッフともども、これからもよろしくお願い致します☆彡



◇2023年度に行った新人スタッフ研修◇

ひづけ 日付	けんしゅうこうむく 研修項目	けんしゅうしゃ 研修者
2023.6.26	オリエンテーション	かわぐち 川口
2023.7.5	リアライズの成り立ち	みつい 三井
2023.7.12	リアライズの事業内容と取り組み	つじた 辻田
2023.8.2	リアライズで取り組んできた運動課題	つじた おかだ ちんせい 辻田、岡田、鎮西
2023.8.2	オールラウンド事前学習会	せいかつかいご よしい ちんせい 生活介護パイオニア、吉井、鎮西
2023.8.29	オールラウンド交渉へ現地参加1日目	かわぐち 川口
2023.8.30	オールラウンド交渉へ現地参加2日目	かわぐち 川口
2023.9.	個人面談	かわぐち 川口
2023.10.11	本部事業部門	ひえだ よしい 稗田、吉井
2023.10.11	生活介護部門	パイオニア
2023.10.13	ピープルファースト大会in大阪 全体会	かわぐち 川口
2023.10.14	ピープルファースト大会in大阪 分科会	かわぐち 川口
2023.11.21	ピープルファースト大会in大阪を振り返ろう!	かわぐち 川口
2023.11.22	相談支援部門&自立生活運動部門	にしとめ ちんせい 西留、鎮西
2023.12.11	介助派遣部門	かわぐち ほしの ふくい 川口、星野、福井
2023.12.25	振り返り&お楽しみ企画検討会	かわぐち 川口
2024.1.23	夢宙センター 訪問	むちゅう 夢宙センター
2024.2.5	いこらー・前編 訪問	いこらー
2024.2.20	いこらー・後編 訪問	いこらー
2024.3.7	日本自立生活センター 訪問	かわぐち 川口
2024.3.8	活動報告会で新人スタッフ研修の発表 &お楽しみ企画	けんしゅう はっぴょう リアライズ共有会

新人研修

しんじんけんしゅう

リアライズでは年2回、介助を始めて3ヶ月以上1年未満の登録介助者に向けて新人研修というものを行なっています！

この期間というのは、緊張もある程度抜けて、介助に慣れだしてくる期間で、その頃くらいから出てくる介助についての悩みや、困りごとなどを共有したり、相談して解決策を一緒に探していこうということを目的としています。

ぶん
新里

2023年度は10月と2月に行う予定になっており、執筆時点の1月ではまだ1回しか行っていないので、まずは10月に行った研修をご紹介します！

2023年度第一回新人研修は10月29日(日)に開催。今回の研修会は、先輩介助者と当事者スタッフ（新里・芦村・鎮西）の3名からなるチームが担当者として研修会を実施させていただきました！

研修会の内容としては、リアライズが作成した「介助者に伝えたいこと」の冊子の読み合わせや、先輩介助者の当事者との関わり方の変化遍歴、当事者スタッフのマイトーク、グループワークなどを行いました！

参加者の皆さんは先輩介助者や当事者スタッフの話に真剣に耳を傾けてくれたり、グループワークでどんどん自分の意見を発表したりして、積極的に参加してくれていた姿が印象的でした。



パートナー制度は2022年度からリアライズで新たに導入した、介助者同士のフォロー体制の事です。

①対話や相談を通して介助を振り返り、気づきをきっかけに成長していく機会とする

②信頼関係の構築

③介助者の定着率向上

上記のことを目的とし、1年目の常勤介助者に対して2年目以降の常勤介助者が担当しています。

2023年度は6名の新人常勤スタッフが加わり6組のパートナーが誕生となりました★

パートナー制度

せいど

パートナー制度の中身としましては、

- ・定期的な聴き取り、振り返り
 - ・介助の不安や困りごとを一緒に考えたり、介助現場に同行し不安の解消に向けて取り組む
 - ・リアライズに還元できる学習会には積極的に参加
- など、上記のことを積み重ねながら「なりたい介助者」に近づいていけるように1年間ともに頑張ってきました。

そんなパートナー制度も2年目になりましたが、初めてパートナー(先輩)を経験する介助者も、昨年経験した介助者もペアがかわれば考えることも変化します。

それぞれのパートナーがどんなことに悩み、また、どんなことを伝えていたのか先輩同士振り返る機会を持ちながら進めてきました。

一緒に考え、話を聞いてくれる存在がいることは続けていく上でも大切なことであると同時に、伝えることでアウトプットの機会にもなります。

改めて互いに学び合う時間になっていけるよう、またブラッシュアップしていきたいと思います。

ぶん
福井



たなびーるのふりんペア



そたちちゃんらごなっちゃんペア



スミスらてんちゃんペア



かずよしくんらしんペーペア



なっつーらまみーペア



まどかさんらあきくんペア



2023年度 リアライズの様々な交流をご紹介します

2023年度はコロナ禍も明け、ようやくみんなで楽しめる機会が増えた1年でもありました！

リアライズの登録介助者と常勤介助者、そして当事者スタッフや、パイオニアメンバーを繋ぐ目的で毎月開催している交流会や、常勤スタッフをねぎらっての慰労会。4年ぶりに開催したリアライズ合宿や他団体との交流会など、様々なイベントを企画し催すことが出来ました。

今回はそのほんの一部ではありますが、開催してきたイベントのご紹介とそこに携わりイベントを実行してきたメンバーの想いをご紹介します！

リアライズ交流会

文：芦村

こんにちは、本日も満ち足りている芦村です。交流部門に所属して早くも1年半の時間が経ちました。

人と集うことがLOVEな私はどうしたら皆が集まるか、どんな催し物だと楽しんでもらえるのか、日々構想を練りながら活動しています♪

こちらの記事では、月1回以上開かれるレギュラーな交流会についてご紹介します。

現在メンバーはむーさん・岡田さん・のぶさん・永ちゃん・ハルク・こなっちゃんの6名で構成されており、得意分野を活かしてより楽しい交流会を作ろうとそれぞれ尽力しています。

あつ じき わ はなび みずあそ なつ も
暑い時期にはスイカ割り・花火・水遊びの夏てんこ盛りパーティ、
けいひんつ かそう
ハロウィンには景品付き仮装パーティをし、またある時はプロのバー
よ ほんかく あじ そつぎょう じ
テンダーさんをお呼びして本格カクテルをみんなで味わい、卒業の時
き いま かつやく ひと ねぎら こ おく た
期には今まで活躍してくれた人たちに労いを込めて送り出すパーティ
ねん とお ほんとう おこな
などなど、1年を通して本当にいろいろなイベントを行ってきました。

まいつきかいさい そつちよく ひと ほんとう むずか
毎月開催して率直に…人をもてなすって本当に難しいです。
ねんれい せいべつ せんいん ちが おな ば きょうゆう なか
年齢も性別もキャラクターも全員が違う、でも同じ場を共有する仲
ま よ じかん す
間としてどうすればより良い時間を過ごせるのか、たくさんたくさん
かんが
考えます。

がい せいちょう かん
でもだからこそやり甲斐も成長も感じます。

いまいちばんうれ さんかしや たの
今一番嬉しいのは参加者が楽しんでくれることッ♡
こうりゅうぶもん いちいん がわ たの あじ つ
これからも交流部門の一員としてホスト側の愉しさを味わい尽くし
おも
てやりたいと思います！

がっしゅく リアライズ合宿

ぶん やまぐち
文：山口

リアライズ合宿とは、日頃の疲れをリフレッシュできる楽しみ
の一つであり、介助や活動を離れてみんなで交流できる機会
です。普段あまり関わりが少ない人同士の交流を目的としており、
介助スタッフ、しょうがいしゃ、障害者メンバー、登録介助者が集い、非日常の環
境で日頃は話さないようなことまで話題に上がって仲間意識が高
まります！レクリエーションを取り入れながら各グループに分か
れてチームワークの良さを競い合います！

今回の合宿では、昼食にカレー作りの材料をかけて勝負して勝
った順位に応じて好きな材料を手に入れるゲームをしました！

他にもクイズやジェスチャー対決などみんなハラハラドキドキ
面白いゲームが続いて盛り上がりました♪

夕食は、それぞれの班にわかれ、野菜を切ったり炭をおこした
りそれぞれ協力し合い準備をし乾杯をしてBBQを行いました！

お酒が入ってることによって話もいつも以上に盛り上がってい
る班もあり、みんな笑顔でその日は終了しました。

翌日は獲得した材料でカレー作りをしました！普段カレーの材
料にないような物がたくさんあり、不安な思いで準備に取り掛か
りましたが、完成したカレーは意外と美味しく食べることができ
ました😊

今回の合宿を通して全体の絆が深まり良い合宿になりました！





いろいろかい リアライズ慰労会

ぶん ひえだ
文：稗田

きかん がまん ひび
コロナ期間！我慢の日々！！

なが たたか よ なか お つ がんば
長い戦いでしたが世の中もようやく落ち着いてきました。頑張
かつどう たいしょう はつ
って活動しているスタッフ・パイオニアメンバーを対象に、初の
こころ ほんぶしゅさい いろいろかい かいさい
試みとしてリアライズ本部主催の慰労会を開催☆

へんか けっこん いくじ ふ
ライフスタイルの変化で結婚や育児をするスタッフも増えてき
なか かつどう ぜんりよく おうえん おも さんか
た中、これからも活動を全力で応援してほしいという想いで参加
しゃ かぞく まね おこな こ さんか ふ ほん
者の家族も招いて行いましたが、子どもの参加も増えたことで本
とう にぎ
当に賑やかになりました♪

がつ いずみおつ うみぞ がつ
8月は泉大津の海沿いにあるN GRILLでBBQ、12月はパイオニ
ぼうねんかい かいかいさい
アスペースで忘年会と2回開催☆

じめん くるまいす いどう おののお
N GRILLは地面がフラットなので車椅子で移動しやすく、各々
す ぼしょ こうりゅう ぼしょ
好きな場所で交流できる場所です。

ひごろ ちょうまじめ
日頃リアライズのスタッフやパイオニアのメンバーは超真面目
かいじょ はなし かつどう はなし かだい はなし ない お
なので、介助の話・活動の話・課題の話などリアライズ内で起き
はなし おお とき ちが
る話をどっぶりすることが多いのですが、この時はいつもと違
れんあい はなし はなし
い、それぞれ恋愛トークやプライベートの話などのゆる～い話を
あつ しんけん かた あ すがた じゅう みう ひさびさ こうけい
熱く真剣に語り合う姿がそこら中で見受けられ、久々の光景だっ
いみしんせん
たのである意味新鮮でした。

まなつ よる うみぞ むふう ねつき つつ
真夏の夜で海沿いなのに無風で熱気に包まれていましたが、そ
ひつてき も あ ほんとう たの ば
れに匹敵する盛り上がりで本当に楽しい場となりました。



あじ し だいにだん がっ ぼうねんかい おこな
その味を占め、第二弾として12月には忘年会を行いました。
ばしょ と みっしゅう
場所がうまく取れなかったためパイオニアのスペースで密集して
かいさい
の開催でした。

ふだん せわ いずみおおつしない いざかや
普段お世話になっている泉大津市内の居酒屋さんにオードブル
ねが ごうか しょくじ た
をお願いし豪華な食事を食べながら、NintendoSwitchやYogibo
けい てん ごうかけいひん ようい たいかい おこな も
など計10点の豪華景品を用意したビンゴ大会も行い、かなり盛り
あ
上がりました☆

こんかい ねぎら こんご かつどう いったいかん う おこな
今回はみんなへの労いと今後の活動への一体感を生むために行
きかく よそういじょう よ ば
った企画でしたが、予想以上に良い場になりました。

ねんいこう こんかいよ とうろくかいじょしゃ ふく
2024年以降は今回呼んでいなかった登録介助者も含めリアライ
ぜんたい いったいかん も かつどう かんが こんご
ズ全体で一体感を持って活動できたらと考えているので、今後も
けいぞく おも
継続できたらいいな～と思います。

せんしゅう も あ
これからさらに泉州を盛り上げていこうぜッ!!!



かつどうしょうかい パイオニア活動紹介

がっこうこうえんかつどう 学校講演活動

ぶん ちんぜい
文: 鎮西

パイオニアを中心として実施している学校講演活動は、地域の小中学校を中心に人権学習などの授業にお招きいただき、中学校では障害の捉え方や（合理的）配慮について、小学校では地域での私たちが暮らしのことや校内でのバリアに気付くためのFW（フィールドワーク）など、学年に合わせた内容で私たちがだからこそ伝えられることを意識して活動しています。



2023年度当初に地域を変えていくために最も重要なことが、私たち障害者のことをもっと知ってもらい、という意識を共有し、最終的に泉大津市内の小中学校全てと繋がりを作ることを目標に決めました。その手段として最適なのがこの学校講演活動です。



そして2023年度においては、まずは泉大津市内の小中学校11校中半分の学校で授業にお招きいただくことを目標に活動してきました。そして2023年度には見事、小中学校合わせて6校で講演をさせてもらえる見込みとなっています！



この活動では、生徒さんや先生と直接交流の機会ができるので、なかなか普段気づけない視点での感想や率直な質問を頂くことで私たちも考える機会が多くなり、よりパワーアップしていける実感を持てるのが嬉しいです。

そして何より生徒さんや先生から「ありがとう！」と感謝されることや学校外でも私たちのことを覚えていてくれて声をかけてくれるのがやりがいを感じます。

また学校での講演をきっかけとして、生徒さんたちの登下校を見守る活動にも繋がったのでご紹介します！



とうげこう みまも かつどう 登下校見守り活動

ぶん むじばやし
文：藤林

今年度より開始した活動ですが、昨年度2月に上條小学校で
おこなった人権学習FW（フィールドワーク）がきっかけで始
めることができました。

僕も夢宙センターで小学校の見守りをやっていると聞き、自
分もやってみたいとかねがね思っていたことだったので、実際
に出来るってなった時はすごく嬉しかったです。

実際にシルバー人材センターの方々に混じってやってみる
と、人権学習をしたことで4年生を中心に挨拶や「この間来て
くれてありがとう」等声を掛けてくれる生徒も多かったです。

回数を重ねると挨拶や声を掛けてくれる生徒が増え、世間話
や質問をしてくれるようになりました。

その後も続けていると地域の方も僕たちを認知してくれたよ
うで「いつもご苦労様です。」等、声を掛けてくれるようにな
りました。

最近では、小学校の目の前にある幼稚園のお迎えに来るご両
親や、近くにある中学校の生徒も挨拶をしてくれるようになり
ました。

どんなに疲れているときも子供たちの元気いっぱいの笑顔や
しぐさを見ると、こっちも元気をもらえるような気がします。
やはり継続は力なんだなと実感しました。

改めて、これからも続けてやっていきたい活動だと思いまし
た。



ねん しんきかく かつどう 2023年新企画アート活動 withアトリエSubaru



ぶん やまもと
文:山本

2023年度から新しくアートの活動をスタートしました！
泉大津市で色んな人とアートを通じて繋がっていききたい！という想いを
もったアトリエSubaruさんと一緒にこの企画を作ってきました。

自分たちがしたいものとSubaruからの「メンバーでコレやったらおも
ろいんじゃない？」ってアイデアを織り交ぜて、いろんな創作にチャレンジ
してきました。これまで作ってきたものは、藁文字を使ったカレンダー作
りやランプシェード作り、ハイター脱色？染めTシャツ作りなどなど…。

やっぱり自分たちの作ったものが最終的に見える形になるって素敵です
ね。特にランプシェードは、パイオニアの事務所に飾りたくなるほどでし
た、そして飾っています！脱色染めTシャツはうまく脱色できる？と不安
でしたが、おしゃれなタイダイ柄に大変身！おしゃれに着こなしました。
※永ちゃんは、ハイターの匂いで、過去の入所施設での暗黒時代を思い出
し苦しむ場面もありましたが(笑)



そして9月からは3か月にわたって大作？を手掛けています！きっとこ
の記事を皆さんが読んでいるときには、パイオニアに飾られているのでは
ないでしょうか？

■後日談

ぶっちゃけた話、「障害者×アート」には、良いイメージがない…。そ
んな想いで恐る恐る始めた企画でした。

しかし実際やってみると、メンバーもスタッフもこの活動を好きになっ
ていく、そんなみんなの姿がありました。きっとSubaruは「障害者×ア
ート」ではなく、純粋にアートっておもしろいよ、上手い下手関係なく表
現するっておもしろいよという「楽しむ×アート」のスタイルで関わって
くれているので、アートに対する苦手意識が自然となくなっていったので
はないかと思います。



今年度も、どんな作品が作られていくのかワクワクしますね！

やがいえいがさい しゅってん 野外映画祭で出店&PR

みんなの文：岡田

リアライズでは地元泉大津に密着しながら活動をしていくため、地域活動にも力を入れています！

5月には泉大津で開催された野外映画祭にも参加させていただいたので、その報告をさせていただきます☆

■野外映画祭って？

野外映画祭とは「映画館がない泉大津市に、老若男女誰もが気楽に映画を楽しめる場所をつくっていきたい！」という想いのもと始められたイベントであり、これまでも泉大津のものとパークや岸和田の蜻蛉池公園でイベントが実施されています。

■出店・ダンス・映画、イベントの数々に圧巻の人だかり！

映画祭では映画上映のほか、飲食や体験のブース、ダンスステージ、だんじりの鳴り物演奏などが披露され、家族連れや若い人など色々な人でにぎわいました！

リアライズでもいつも出店している「コイン落としゲーム」のブースを出店したのですが、破格の料金で景品のお菓子を渡したところ、激安のうわさが広まり、子どもたちがビックリするほどの勢いで殺到！（笑）

出店終了予定時間を迎える前に景品が完売するという、ありがたい結末を迎えました♪（ゲームをしてくれた子のご家族の方などに、リアライズのチラシを渡してチャっかりPRもさせていただきました☆）

出店やマイクパフォーマンスも終わって夜を迎えたあとは、いよいよ今回のメインイベント、映画「ミニオンズフィーバー」が会場の東雲公園で上映されました！

大きなグラウンド全面を埋めつくしきほどの圧巻の人だかりの中、星空のもとみんなで一緒に見たミニオンは、これまでの泉大津でのエピソードの中でも、心に深く刻まれる思い出の一つとなりました♪



編集後記



いつもリアルライフNewsをお読みいただきありがとうございます。

毎年一年が経つのは早いなあと思いながら編集している北村です。

実際編集を始めるとこんなに色々やってたのか、と思うくらい今年も活動やイベントが目白押しの一年でした。

ページ数の関係上、やったことすべてを掲載するわけにもいかず、一年の中のほんの一部の紹介になってしまうのが毎年悩みの種です。

それだけリアライズが毎年いろいろな活動や運動を行っている証と、ポジティブにとらえていきましょうか(笑)

尚、日々の活動や出来事については、リアライズのSNSにて毎日発信しておりますので、ぜひそちらのチェックと、できればフォロー&いいねをしていただければモチベーションがすごく上がりますのでよろしくお願いいたします(笑)

昨年度は広報でも様々な新しい情報発信を行った年でもありました。南海バスの車両をリアライズの宣伝と介助者募集を行うために横一面ラッピングをさせていただいたり、街頭のLED看板でリアライズの広告を流したりと今までにはなかった、新たな道を模索し挑戦してきた年でした。

この経験をもとに、今年度もぜひ新たな挑戦・新たなステージの開拓を広報としてさらにブラッシュアップして行っていききたいと思います。

今年度も色々な活動や運動を中心に、皆様へしっかりとリアライズの情報をお届けできるよう広報一同、一丸となって情報発信してまいりますので、どうか今後もリアライズの応援をよろしくお願いいたします!

へんしゅうたんとう きたむら
編集担当:北村

!!のどから手が出るほど

介助者が欲しい!!

障害があっても当たり前前の生活がしたい!

そのために**介助者が必要**なんです!

- ☑ 時給1,190円~
- ☑ 髪型・髪色・服装自由
- ☑ 週1勤務~OK!
- ☑ 社保・厚生年金あり
- ☑ 正社員登用あり
- ☑ 交通費支給
- ☑ 学生OK!
- ☑ 資格取得支援制度あり
- ☑ 高時給
- ☑ 未経験者大歓迎
- ☑ WワークOK!

求人情報は
Webサイトから!



リアライズLINE
公式アカウント



特定非営利活動法人

自立生活センター・リアライズ

Nonprofit Organization CIL Realize

〒595-0071

大阪府泉大津市助松町1-3-33-104

TEL:0725-22-7716

Web:<http://www.cil-realize.com>





へんしゅうにん
編集人

とくていひえりかつどうほうじん
特定非営利活動法人

じりつせいかつ
自立生活センター・リアルライブ

〒595-0071

おおさかふいずみおおつしすけまつちょう
大阪府泉大津市助松町1-3-33-104

TEL:0725-22-7716

FAX:0725-22-7746

はっこうにん
発行人

かんさいしょうがいしゃていきかんこうぶつきょうかい
関西障害者定期刊行物協会

〒543-0015

おおさかしてんのうじくさなだやまちょう
大阪市天王寺区真田山町2-2

とうこう かい
東興ビル4階

ていか えん
定価:100円

第3種郵便物承認 毎月(5・10・15・20・25日)発行

